



ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-1-2

TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当

上越市 総合政策部 総合政策課 ふるさと応援室

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-520-5625

ホームページ▶

ふるさと上越



2024独立展入選作品「樹精」F130号(194cm×162cm) 浜野寿子

「たより」No.302 目次

会員数と「ふるさと市場」販売報告	2
Jネットの活動とお知らせ	2
上越の行事	3
JネットHPのご案内	3
上越タイムス・上越ケーブルビジョン (アクセス方法のご案内)	3
上越の話題 特集	4
「思い出の年末年始(歳取り)」 上越各地の思い出の年末年始 (高田)(直江津)(牧村)(金谷地区)	5
俳句ひろば	5
会員ひろば	6
人生の棚卸ー 記憶より記録のスズメー 稲場晃美	6
瀧川鯉橋師匠 高座予定	7
上越産品販売のお知らせ	8
上越市からのお知らせ (ふるさと応援室より)	8
Jネットからのお知らせとお願い	8

雁渡る暗き海あり出雲崎

火影漏るどのかまくらの入口も

凍らざる神泉を引き紙を漉く

金糸引き聖樹の星は箒星

雪近き暗さとなりぬ高田いま

饒村楓石

出典「楓石句集」

ふるさとはいよいよ厳しい季節を迎えています。この一年間、饒村楓石先生の御歌を通して、ふるさとへの深い思いをみなさまと共有できたのではないのでしょうか。連載は、これで一区切りとさせていただきます。

会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員は593名(令和6年12月20日現在)

(2) ふるさと市場の販売取次状況 令和6年11月 182点 400,693円 ※前年同月69点163,413円

Jネットの活動とお知らせ

◆ 12月12日(木)湯島にてサロン開催

忙しい時期でしたが、27名が参加し、お酒も売れて賑やかな会でした。久々参加の伊藤淳さんから近況のお話し頂きました。

差し入れは、内田さんから吉祥吉日(長岡)とお摘み、高橋稔さんから花の舞(浜松)、田村由紀男さんからほまれ(能登)、以上日本酒。岡村さんからカステラ、榎野さんと小坂からはワイン。

有り難うございました!

(小坂庸雄 記)



【次回以降のサロン】 毎月第2木曜日開催

◆ R7.1月9日 (木) (新年会) 17:00~19:00 1月は、30分繰り上げて開催します。

参加費1,500円(予約不要・途中からのご参加もOKです。)

新年会を兼ねて大ホールで開催します。築山由菜さん(会員瀧澤康二さんのお孫さん)とご友人蝶名林菜央さん(お二人ともに国立音楽大学3年生)によるクラリネット演奏も予定しています。奮ってご参加下さい。

◆ R7.2月13日 (木) 17:30~19:00 参加費1,500円(予約不要・途中からのご参加もOKです。)

会場：東京新潟県人会館「ふれあいふるさと館」東京都台東区上野1-13-6 TEL：03-3832-7619

◆ 第20回 Jネット近畿地区サロン開催

12月6日(土)、大阪梅田にあるガーデンシティクラブにて近畿地区サロンが開催されました。

上越からは大谷健一郎ふるさと応援室長にご出席いただき、総勢8名、少人数の開催ではありましたが、賑やかで楽しい会となりました。なお、東京からは小坂会長が出席。

会終了後は、今年7月にオープン、大阪駅直結のKITTEで新潟物産を見学し、同時にオープンの「雪國商店」でお買物、ふるさとの仲間とふるさとを思い出し、楽しい1日となりました。次回の近畿地区サロンは令和7年12月6日(土)に開催予定です。

近畿方面ご旅行のスケジュールに近畿地区サロンをぜひ!

(野口庄平 記)



◆第56回 Jネット勉強会 鯉橋師匠のミニ独演会と渋沢史料館の見学

—令和7年1月23日(木) 梶原いろは亭（北区上中里）11時～—

今回の勉強会は、久しぶりに瀧川鯉橋師匠(当会副会長)のミニ独演会です。落語二席を1時間楽しんだ後は、飛鳥山公園内の渋沢史料館を1時間見学します。なおこの見学の後、同公園内のレストランでランチ懇親会も予定していますので、是非ご参加下さい。

集合時間、場所、その他当日のスケジュールは同封しましたご案内をご覧ください。

上越の行事

◆レルヒ祭 2025年2月1日(土)/12:00~19:30 2月2日(日)/9:30~15:00

日本にはじめてスキー術を伝えた当時のオーストリア・ハンガリー帝国の軍人、レルヒ少佐の遺徳を顕彰して開催されるイベント。日本スキー発祥の地・金谷山スキー場や高田本町商店街などを会場に、当時のスキーのスタイルを再現した一本杖スキーの披露をはじめ、様々なイベントが開催されます。

あかりのパレード【たいまつ滑降】(2/1(土)18:30~)の参加者を募集中です。

お問合せ先

レルヒ祭実行委員会事務局

(公社)上越観光コンベンション協会 TEL：025-543-2777

レルヒ祭

-日本スキー発祥114周年-

あかりのパレード【たいまつ滑降】

参加者募集！！

・実施日時：2025年2月1日(土) 18:30~

・集合時間：17:30

・集合場所：金谷山スキー場内のレルヒ祭本部前

・申込期限：2025年1月19日(日)まで

定員
30名

たいまつを掲げて金谷山ゲレンデを滑走します

申込先：レルヒ祭実行委員会事務局（公益社団法人上越観光コンベンション協会内）
MAIL: jrco@joetsu.ne.jp FAX: 025-545-1113

レルヒ祭実行委員会 行 ※FAXまたはメールにてお申込みください。

あかりのパレード【たいまつ滑降】参加申込書

住所	〒		
氏名	(フリガナ:)		
年齢	性別		
電話番号	(当日連絡が取れる電話番号)		
メール			

下記フォームからも申込可能です！

Jネット ホームページ

◆ふるさと上越ネットワークのホームページをご覧ください

「たより」を全ページカラーでご覧いただけ、上越市の四季の写真他、掲載は多様です。

お知らせページでは各地の話題やイベント情報、会員ひろばでは、たくさんのお話、また会員のみなさんからの寄稿文やホットな情報もご覧いただけます。

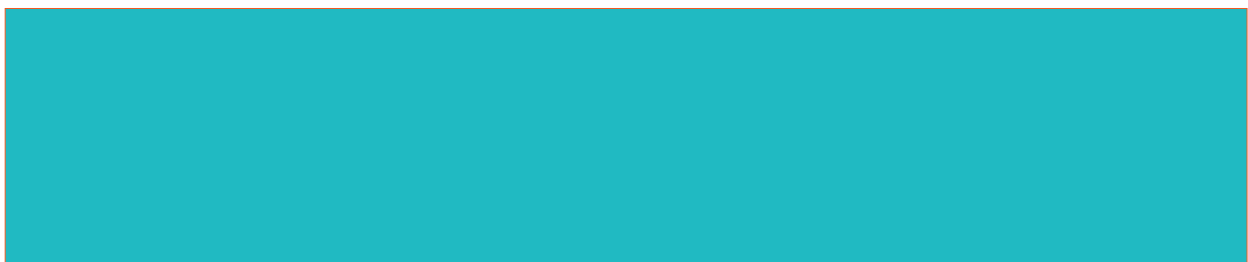
ぜひとも、「ふるさと上越ネットワーク」を検索し、ご覧ください。スマートフォンからは、上の二次元バーコードからご覧いただけます



上越タイムス電子版、上越ケーブルビジョンへのアクセス方法(会員のみ)

◆Jネット会員は、無料でご覧いただけます。

- ① HP右肩「Jネット会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックし各社のHPへ
- ③ 下記のメールアドレス・パスワードにてログインしてください。



◆ 「思い出の年末年始（歳取り）」

Tさん（高田旧市内生まれ）

ある年の大晦日、妻が「いつも正月のために作ったものを大晦日に食べてしまう。今年は普段と変わらない、年越し蕎麦はある」と言われてしまった。一年で最も楽しみな宴（うたげ）が無いことになる。そこで「高田での大晦日はどうだったのか」を思い出してみた。何せ60数年前のことで私はまだ小学生であった。実際にはお手伝い程度しか行っていないのではっきりしないこともあるがその辺はご容赦を頂きたい。

12月29・30日

大掃除の後、空き茶箱の台に天神さまの掛け軸を祭り、その前にお飾りとお供えを供える。

12月31日

昼ごろから煮物作りである。厚揚げ、大き目に切った大根、くわい、手綱結びのこんにゃく、車麩（ふ）を煮てホーローの器に入れて粗熱を取る。その後皿に盛る。棒サメの煮つけも作る。

この他に紅白なますや黒豆もあったように思うが記憶があやしい。お刺身は普段より少しよいものであるがそれでもタコかイカ刺しだったかも知れない。子供には小さな鯛かエビの落雁菓子がついた。そして一年間無事で過ごしたことを祝いささやか宴を行う。これを思い出しても楽しい。年越し蕎麦は食べない。

1月1日

年が明けた新年はゆっくり休んで朝昼一緒の食事となる。大晦日に残った煮物と雑煮だけである。具はねぎと大根、人参と家でついた角餅を入れた醤油味の雑煮であった。野菜だけの雑煮では味に締まりがないので竹輪やかまぼこを入れたかも知れない。後年に肉類を入れたと思うがそれはおそらく家に冷蔵庫が入ってからであろう。町中で人に逢うと「よい歳とりをなさったかね」「おめでとうございます」だったと思う。そしてその夜は大晦日の食べ残しと昼の雑煮の残りだけである。つまり二食である。雑煮に入れる焼き餅のおこげも苦味が少し加わってまたおいしい。

2日&3日

元旦とほとんど変わらない。昼食は残った煮物と雑煮である。餅は砂糖しょうゆやで海苔でまいて磯部焼のこともある。これはまるでおやつの雰囲気である。夜はとサメの煮つけが出る。

後年親に聞いたところがある。「昔は貧しかったので普段の食卓にはろくなものもしかなかった、せめて月末の晦日（みそか）だけは一品多いものであった。12月は1年の最後の晦日である、つまり大が付いて大晦日だから更に一品多くして、一年を無事に過ごせたことを家族みんなで祝った」「子供への落雁は、本当は尾頭付きの本物の魚を付けたいが高いので落雁で代用している」、今考えると落雁も安いものではないが、確かに年末になると町の和菓子屋に落雁が並んでいたと思う。これは昔からの習慣かも知れない。そしてこのような簡素な正月は「三が日はかまどに火をいれてはならない」「女は台所に入ってはならない」または「正月の三日間は女に楽をさせるため簡単になった」「サメは日持ちがよいの正月の料理になった」などであった。

上越ではゼンマイを入れる雑煮が多いようであるが正月にゼンマイを食べた記憶はあまりない、おそらくゼンマイは町家では高価であったと思われる。

これらについて少し調べてみると、この風習は古いお正月の迎え方であり、旧暦を使用していた頃まで遡る。

旧暦では日没後に一日がはじまるとされていたので、大晦日の夕方から元旦として新しい年をお祝いした。また生まれ年を1歳とする数え年で年齢を表したので、お正月を迎えることで歳を一つ増やしていた。家族揃って一つ歳をとること（歳取り）を喜び、歳神様とともに新年を迎える特別な日であった。この理由であればおせち料理を大晦日の夕方から食べるのもうなずける。この風習は全国各地に残っているが上越地方もその伝統を守ってと言える。

最近、私は妻と一緒に買い物に行き、普段より少し良いものを一品多く買う。それを酒のつまみにして寂しく「一人宴」を行う。そして年越し蕎麦を頂いて新年を迎える。年が明けてからは家で作った煮物と市販の「おせち料理」を頂く、締めは雑煮である。私は市販の「おせち料理」は正直に言っておいしいとは思わないが縁起ものなので仕方がない。上越の正月は物足らない感じもするが簡素な正月もいいものである。

上越地方でもおそらく直江津、東頸城、西頸城、妙高の年末年始も違いがあるかも知れない。そこでネット諸氏の、現在の年末年始の様子や子供のころに年末年始をどのように過ごされていたのかも興味がわく。

上越各地の思い出の年末年始

Kさん(高田)

年越しは31日、お節も31日に食べ始める、親からのお年玉も31日に貰った。正月3日間は2食、朝昼兼用は雑煮の他におしるこ、きなこ餅。それにお節の残り、正月の刺身はタコが定番だった記憶強い。雑煮には鮭/塩引きが入り、醤油味、他に大根、こんにゃく、焼き豆腐、ごぼう、せり、みつ葉。祖父母が長岡出身だったことから鮭が入った。遊びはもっぱら花札。、商家だったので小学校位までは従業員(2日の初売り対応)も一緒に賑やかであった。店先の畳に座布団を敷いての花札、まるで賭博場もどき。なお、妻の実家は糸魚川、お節食べ始め、お年玉は同じく年末。正月3日間2食も同じ。雑煮は鰯(ぶり)が入り醤油味、大根他は我が家と殆んど同じ。31日には鰯の刺身と同塩焼きが定番で、鰯づくしだったとか。遊びはこたつでトランプ、花札。お酒については、高田の我が家は正月の朝昼はお酒を飲む習慣はなかった。年始ご挨拶のお客様もあったからかも。なお妻の糸魚川での実家では元旦から日本酒を頂いた。

Nさん(直江津)

直江津は国鉄の町 12月31, 1月1日は仕事で、年越しが12月30日の家もあった。お節は31日に食べた。雑煮・大根、ニンジン、焼き豆腐、こんにゃく、ゼンマイ、醤油味。酢ダコ、カブ菜(漬物)、かまぼこ。水ようかん、フルーツ入り牛乳羹がお節に入っていた。冬は塩引きしゃけ、こたつで花札

Sさん(直江津)

年越しは年末、お節も大晦日に食べた。年越しそばは無し。雑煮は貝たくさんで鶏肉が入っていた。ゼンマイは必須。田舎の親戚から、餅、干し柿が届く。こたつで花札(少額を掛けた)。商家で1月2日が初荷、景品が付いた。子供達が早朝初買いにでかけた。店先に「獅子舞」が来ていた。

Sさん(牧村)

門松は、実際松を切ってきて自前のものを作る。雑煮 野菜、里芋、鳥(飼っていた鶏をめる)。餅つきは自宅でつく、土間がある。

Tさん(金谷地区)

サカキを山に入っ
て採る、12月暮れ。
各家に臼があり28
日に餅つき。



俳句ひろば

霽^{みぞれ}止み庭重力を解き放し
セーターの煙草の痕のあの一夜
地藏さん雀詣でて日向ぼこ
妻マスク家の小言も堰き止めて
どんと焼き私の勝手土に帰す
乏^な硯
厨より流れるキャロル星の夜
決めかねる指手袋に隠しおり
黄昏やポート揺れば鴨も揺れ
冬波や氷河にの記憶秘めて立つ
時雨降る墨絵のごとき小舟かな
ル^ルディセル泰子

◆ 人生の棚卸— 記憶より記録のススメ—

稲場晃美

2025年には認知症の有病者数が約700万人と推計されていること（首相官邸ホームページより）はご存知でしょうか？ ネットにご参加の皆様はお元気でいらっしゃいますので、「終活はまだ早い」とお考えの方が大多数かと推察いたしますが、いざ何か起きてから対応するのでは遅すぎると筆者は考えます。特によく散見されるのが、認知症と診断されそうな直前になって、「自宅を売却して施設に入りたいと考えている」というご相談。不動産売買に限らず、契約行為は「ご本人様の意志がきちんと確認できる」ということが大前提なので、「今なら大丈夫かも」と思ったときにはもう遅いケースもあります。

そこで、年末の大掃除ならぬ「人生の棚卸」についてお話ししたいと思います。

【エンディングノートのススメ】

終活の一環としてエンディングノートをつけている方もいらっしゃると思います。銀行口座やパソコンなどのパスワードなどは、タイトル通り「記憶より記録」が自分の忘備録としても大変有効です。特に、普通預金口座はどこかの検索サイトで、「鈴木一郎さんの普通預金」と検索できるわけでないの、「〇〇銀行」というヒントがないと、どこにどんな資産をお持ちなのか探すのは大変です。（ネット銀行をお持ちの方は是非メモをお願いします）しかし、エンディングノートはそれだけのことでなく、おススメしたいのは、「自分がどういう人生を過ごしてきたかという自分史」や、「我が家秘伝のレシピ」などを是非記録にのこして欲しいのです。いろいろな困難を乗り越えて現在に至っている、あなた自身の生きざまや在り方は、お子さんやお孫さんたちにとって勇気や希望になるかもしれませんし、「おばあちゃんあの〇〇って美味しかったよね。」そんな何気ない会話が、突然家族を失った人たちへの慰めになるかもしれません。（みなさん余命宣告されて色々後始末できる時間があると思わずぎえています）

【相続対策は全員必要】

相続発生後の手続きのフローチャート（次頁に記載）をご覧になってわかるように、相続税がかかる、かからない、何れの場合も必ずしなければならないことが2つあります。一つは、「相続人を確定させること」、もう一つは「相続財産の確認」です。昨今は、戸籍の広域交付制度も始まりましたので戸籍の収集がしやすくなってきましたが、現役世代の人達が、銀行等に「亡くなられた方の出生からお亡くなりになったときまでの戸籍をもってきて欲しい」と言われて、ぱっと対応できますでしょうか？除籍謄本や改正原戸籍などは古いものでも使えることありますので、ご両親の時の相続関係資料をお持ちの方はそれがどこにあるのか記録する、歴史好きな方ならファミリーヒストリーをたどって直系の戸籍は集められますので、役所で保存期間切れで廃棄される前に集めておくのもおススメします。そもそも、どこの本籍地に戸籍があるのか自分自身ならお分かりになるとおもいますので、今から集めて置いたらご家族に感謝されること請け合いです。

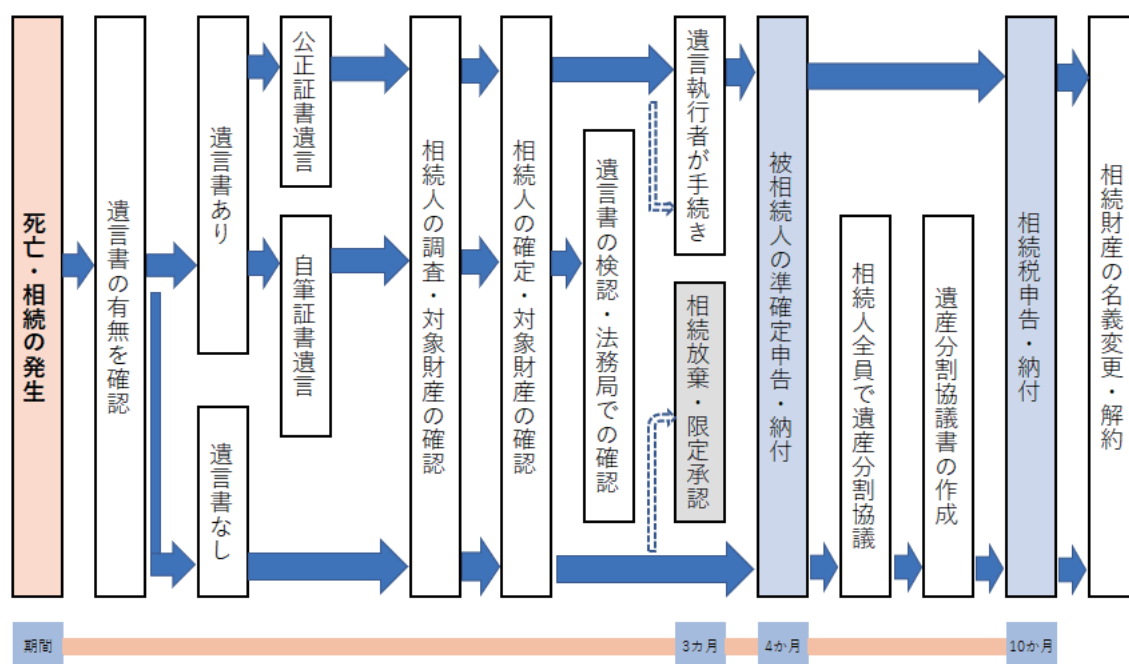
ドラマのような話と感じると思いますが、初婚だと思っていたら再婚で、最初の相手に子供がいた。等、自分が思いもよらないところに相続人がいる可能性は調べないとわかりません。また、生涯独身のお一人様におかれましては、ご本人の出生から現在までの戸籍だけではなく、異母兄弟等の調査も必要ですので「ご両親の出生から死亡までの戸籍も必要」です。

【相続対策ご相談の方へ「エンディングノート」プレゼントします】

弊社は特におひとり様や不動産をお持ちの方の相続対策を行っております。エンディングノートは法的効力がないから意味がない。とお考えの方もいらっしゃると思いますが、自分の頭の中で「銀行口座はここここ」ではなくて、きちんと見える化しておくことは、自分の記憶があいまいになってきた時にも助けになると思いますし、例えば奥様にまかせっぱなしのご主人様は、奥様が病気で倒れる前に大切なことを連絡帳としてメモしてもらえると助かると思います。今回この記事を読んで、「ちょっと教えて欲しい」でも結構です。無料の相続相談をご依頼された方先着15名の方（2025年1月末まで）に、「終活・相続の連絡帳」をプレゼントします。（誰にも知られずに国庫に没収よりご家族へ遺したいですよね？）

是非、年末の大掃除に「人生の棚卸」も加えて頂きまして、皆様の家族が「笑顔相続」を迎えられるようサポートいたします。なんでもお気軽にお問合せください。

相続発生後の手続きのフローチャートと期限



注1) 原則的に、相続対策ができる人は「認知症」等の診断がされてない人だけ。施設入りたいから不動産売りたいは遅いです。
 注2) 賃貸経営をなさっている等、毎年所得税の確定申告をなさっている方は準確定申告が必要な場合が多い(税理士と確認要する)
 注3) 相続税がかかっていなくても、不動産の名義書き換えが必要な人は「遺産分割協議書」が必要

人生をハッピーに♪

株式会社 高田デザインスタジオ

代表取締役 稲場晃美

東京都港区南青山4-17-33

TEL：03-6271-5221

ホームページ <https://happy-ending.info/company>

「すまいと想いのボタンを繋ぎ、
みんなの笑顔を100年先へ」

瀧川鯉橋師匠 高座予定 鯉橋：090-4730-9032 rik_yoh_taki@taupe.plala.or.jp (鯉橋メール)

◇1/18(土)宝善院落語会

時間：午後1時～1時50分
 木戸銭：無料 出演：昇乃進、鯉橋
 会場：宝善院(鎌倉市腰越5丁目)
 お問合せ：0467-31-8010(宝善院)

◇1/20(月)グリーンホール八起寄席

時間：午後2時～4時
 木戸銭：2,300円(予約・2,000円)、
 65才以上1,800円(予約・1,500円)
 出演：談修、鯉橋、兼好、文菊
 会場：グリーンホール相模女子大学(相模大野)
 お問合せ：042-749-2200(グリーンホール)

◇1/23(木)梶原いろは亭「鯉橋ミニ独演会」

時間：午前11時～正午
 木戸銭：2,000円(前売・予約)1,500円※なるべく要ご予約で。
 出演：鯉橋(二席)会場：いろは亭(北区上中里3丁目1-4)
 お問合せ：鯉橋または070-3318-5397(「いろは亭」受付担当)まで。

◇1/26(日)梶原いろは亭「なかよしおじさんズ」

時間：午後1時～3時ごろ 木戸銭：2,500円
 出演：鯉橋、小助六、夢丸
 会場：いろは亭(北区上中里3丁目1-4)
 お問合せ：070-3318-5397(「いろは亭」受付担当)まで。

◇1/27(月)「七人の侍」～流浪の落語会～

時間：午後1時～3時半ごろ 木戸銭：1,500円
 出演：鯉朝、枝太郎、楽生、鳳志、鯉橋、藍馬
 会場：お江戸両国亭

☆ブログ『～七転び八起の末のホンダラダ～』

<https://blog.goo.ne.jp/rikyoh3194>

どうぞご覧くださいませ。鯉橋拝

1/23(木)梶原いろは亭「鯉橋ミニ独演会」は、第56回Jネット勉強会です。ご参加の方はJネット事務局までご連絡ください。

TEL：03-5244-51338 Mail：K.miyazato@araipt.co.jp

上越産品販売のお知らせ

- **Jネットふるさと市場「取次販売商品一覧」** ※R7年のご注文は、1月6日(月)より賜ります。
会員は送料無料で取り寄せができますので、どうぞご利用ください。
現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧(A4版1枚)を同封にてお届けします。
- **上越特産市場** JCCソフト株式会社運営による、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモールです。
「上越特産市場」でネット検索いただき、お申込み下さい。
- **常設店舗「雪国商店」**(有楽町駅から徒歩約3分)
場所：有楽町交通会館1階
営業時間：11:00～19:00
年中無休(年末年始は休業)
「雪国商店」または下記のURLよりご覧ください。
<https://yukiguni.shop/>
- **新潟・上越妙高「うまさ直送!雪国マルシェ」**
日時：1月25日(土)・26日(日) 2月22日(土)・23日(日)
会場・時間：11:30～17:30 交通会館1Fピロティ
お問合せ先 JCV東京情報センター TEL:03-5218-7730

上越市からののお知らせ

◇ふるさと納税新規返礼品のご紹介

ふるさと納税の申込みが集中する12月に合わせて、新たな返礼品を追加いたしました。主な新規返礼品は以下のとおりです。詳しくは特設サイトをご覧ください。



4食セット
麵屋あごすけ
冷凍ラーメン



丸大食品
ローストビーフとハンバーグの
詰め合わせ



田中ファーム
コシヒカリ



蛸の里
にじのきらめき



三上酒店
SAKEセット



越後薬草
YASOジンソーダ



渡辺農園
越後姫ジャム



越後酵素蓬緑
蓬緑



左の二次元バーコードからふるさと納税特設サイトの情報をご覧いただけます。
※紙カタログのご用意もあります。
ふるさと応援室(TEL:025-520-5625)までお気軽にお問合せください。

●●●●●●●●●● Jネットからののお知らせとお願い ●●●●●●●●●●

表紙の絵画作品の作者浜野寿子さんは、たより次号で紹介させていただきます。

会員の皆様には、ご自分の思い出やご経験、上越の魅力、上越に役立ちそうなこと、会員の親睦を深めることなどなんでも結構ですので、記事(1,200字程度まで)と写真を送信いただければ幸いです。投句もお待ちしています。

さらに、たよりについての感想、記事や俳句の感想をお寄せ頂ければ、寄稿や投句された会員の励みになります。こちらもお待ちしています。(いただいた感想は、会員ひろばに掲載いたします。)

Mail 送信先 事務局:k.miyazato@araip.co.jp

◎次号「たより」は令和7年1月25日の発行です。